

新地町の復旧・復興状況

2016年10月号

新地町の主な復興事業の進捗を写真で紹介しています

JR常磐線の復旧は、施設整備・検査も終わり間もなく試運転が始まります。新しい消防署は完成して移転しました。



完成した高架橋をレールウォーク！

6号国道沿いに移転した消防署兼防災センター



新地町の復旧・復興状況

住まいの再建（1） 防災集団移転促進事業は、7団地で約99%（空き区画除く）が入居済または建築中です。



作田東団地（防集16区画、町営住宅6戸）



作田西団地（防集28区画、町営住宅9戸）



岡団地（防集18区画、町営住宅14戸）



雁小屋団地（防集58区画、町営住宅27戸）



大戸浜団地（防集23区画、町営住宅11戸）



富倉団地（防集8区画）



雁小屋西団地（防集6区画）



広場に「かまど」ベンチを設置し非常時にも対応

防災集団移転団地は、町の中心から概ね「1.5km」の範囲に7団地157区画を整備しました。これまでに、全区画の「約99%」の方が住まいを再建して入居しています。

新地町の復旧・復興状況

住まいの再建（2） 災害公営住宅、被災高齢者共同住宅



愛宕東町営住宅(30戸)



作田東町営住宅(6戸)



作田西町営住宅(9戸)



雁小屋町営住宅(27戸)



駒ヶ嶺原町営住宅(6戸)



岡町営住宅(14戸)



大戸浜町営住宅(11戸)



新地駅前町営住宅 26戸建築中(12月完成)



災害町2地区に整備して入居しています。最後の新地駅前地区も工事が進み年内完成予定です。また、被災した高齢者世帯のために、台湾赤十字社からの支援により22世帯分の共同住宅を、小川地区の地場産市場向かいに整備しました。

新地町の復旧・復興状況

新地駅周辺土地区画整理事業、JR常磐線復旧事業、防潮堤・防災緑地整備事業



土地区画整理事業の完了時イメージ



区画整理：二期目の分譲が近く始まります



区画整理：元の地区住民の住宅再建が進む



新地駅南の砂子田川鉄橋付近



新地駅周辺、信号の試験も開始



新地駅は駅前広場を整備中



完成した埴浜地区の防潮堤・地区の皆さんと



2015年3月のどんぐり植樹祭



釣師防災緑地イメージ

新地町の復旧・復興状況

道路、農林水産業（釣師浜漁港、排水機場、農地、河川）の復旧



町道：大戸浜富倉線は8/22共用開始



県道：舗装待ちの浜街道(38号線)



県道：金山新地停車場線は新ルートで



釣師浜漁港



釣師浜漁港の漁具倉庫



被災した農地も復旧し作付け



埴浜排水機場の復旧が完了



河川：役場裏の砂子田川は区画整理と同時に改修

沿岸部から内陸に向かう道路は、震災の教訓から踏み切りを無くしました。釣師浜漁港は岸壁嵩上げ、漁具倉庫整備が終わり、荷さばき所の建設が間もなく始まります。また、水産加工施設整備にも着工しました。

新地町の復旧・復興状況

大規模プロジェクト、福田地区定住促進、町外からの移転者状況、仮設住宅の集約



相馬港(町内)に建設中のLNG基地



新地インターに建設中の高速バス停留所



福田定住促進住宅12戸が完成、8/10から入居



町外からの移転者の多い「岡地区」



町外からの移転者の多い「駒ヶ嶺原地区」



撤去された仮設住宅・総合公園グランド



「がんごや」仮設住宅は当分の間残ります

震災後、町外からも多くの被災者の方々が町内に住宅を再建し、その戸数は百戸を超えています。(新地の岡地区、駒ヶ嶺の原地区に多い)
新地駅周辺土地区画整理事業は、町分譲地第一期分募集を行い抽選となる人気で、第二期もこれから募集します。

仮設住宅は、町民の住まい再建が大きく進んだため、集約された一部団地を除き撤去され、元の利用状況に戻されました。町外の入居者が今も多い「がんごや仮設住宅」は、現在も二百人近くが入居しています。

－新地町の復旧・復興状況－

震災から約5年半が過ぎた「平成28年10月初旬の復興状況を事業別に紹介します。

各事業の進捗状況

1. 防災集団移転	新団地は高台に7箇所、平成26年5月までに全て造成が完了し、入居済と建築中は98.6%(空き区画除く)と再建が大きく進みました
2. 災害公営住宅	愛宕東、駒ヶ嶺原、大戸浜、岡、雁小屋、作田東、作田西が入居済み、残る新地駅前も建築中で年内に完成入居の予定です。仮設住宅は2つの団地に集約され、それ以外は撤去されました。(がんごや仮設住宅には町外被災者が今も多く入居しています)
3. 被災高齢者共同住宅	台湾赤十字の支援を受け、老夫婦や一人暮らしの高齢者を対象に建築した平家の集合住宅で、3棟22戸あります。(H25/11月から入居)
4. 区画整理	役場北側の新地駅を含む「23.7ha」、約4メートル盛土して津波に備えた新しい街を造成。震災前住民の住宅再建も始まり、保留地の第一期分譲も行われ抽選となる人気でした。また、防災センター(兼)消防署が完成し、新地駅周辺には企業の社員寮が完成する等、今年12月10日の常磐線再開通に合わせ新しいまちづくりが進んでいます。
5. 防災緑地	釣師防災緑地(約18ha):被災地跡に盛土施工中。「どんぐり」も植樹されて育成中です。 埴浜防災緑地(約24.5ha):同様に盛土工事を実施中で、元地区の皆さんでコスモスを植えています。(県事業)
6. 道路	(復興道路) 町道:避難道路を事業実施中で一部は既に供用を開始。また、地区を連絡する新たな路線も整備しています。 県道:相馬亘理線新ルートが急ピッチで行われています。また、新たに6号国道から新地駅前への路線も工事が進んでいます。 (災害復旧) 町道:17箇所中沿岸部を除く16箇所で復旧が完了しました。 県道:橋梁や路面の盛り土工事が進んでいます。金山新地停車場線作田地内は、復旧が終わり工事用道路として供用しています。
7. 河川	(改修事業) 砂子田川:新地駅周辺の区画整理事業と一体で、河川拡幅改修が進められています。(県事業) 地蔵川:河口付近堤防を高くするのに合わせ、ルート変更と護岸工事を実施中。(県事業) (災害復旧) 濁川、三滝川、埴川:河川堤防の嵩上げを県事業で実施中で、工事はほぼ完了しています。
8. 海岸	防潮堤:以前より1m高い「TP7.2m」の高さに嵩上げする工事が終わりました。(県事業)
9. 農業	農地復旧:約309ha中H25まで69%復旧完了しました。今後は、ガレキ堆積物等の被害が大きかった、旧JR常磐線東側農地を復旧します 排水機場:排水機場3箇所の復旧が終わりました。(県事業)
10. 漁業	釣師浜漁港は、岸壁の嵩上げ、漁具倉庫再建が終わり、荷さばき所建設も始まります。漁港南方沿岸部には民間の水産加工施設も建設中です。
11. JR常磐線	高架橋や駅舎などの工事が終わり、国の保安検査にも合格し、間もなく始まる試運転を経て今年12月10日に再開通します。